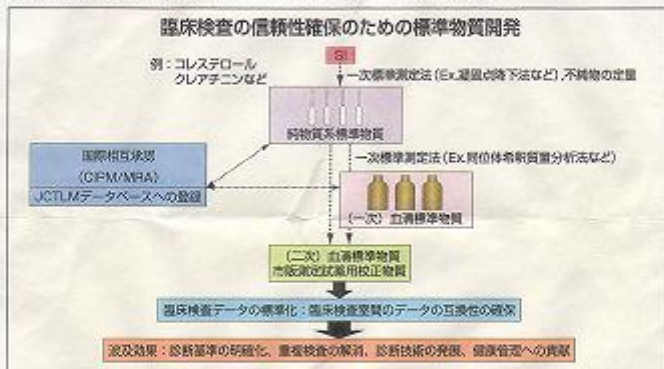


バイオ・メディカル分野の標準物質

臨床検査の信頼性確保のための標準物質

病気の診断や健康状態の把握に重要な役割を担っている臨床検査において、検査結果の信頼性・互換性確保の動きが加速しています。国際的には、「臨床検査医学におけるトレーサビリティ合同委員会 (Joint Committee on Traceability in Laboratory Medicine: JCTLM)」において、臨床検査に係わる標準物質や標準測定法の国際的な登録や比較実験などが行われています。

NMIJでは、臨床検査医学分野において、測定の基準となる純物質系標準物質を中心に認証標準物質の開発を行っています。また日本臨床検査標準協議会や関連する学協会などと協力して、この分野の計量学的トレーサビリティ体系の構築を進めています。



NMIJ認証標準物質—有機標準物質—

標準物質番号	標準物質名	認証値 (純度)
NMIJ CRM 6001-a	コレステロール	0.999 ± 0.001 (kg/kg)
NMIJ CRM 6005-a	クレアチニン	0.999 ± 0.002 (kg/kg)

尿素 (純物質)、C反応性蛋白 (溶液)、プロゲステロン (純物質)、テストステロン (純物質)、β-エストラジオール (純物質) などについて現在標準物質開発を進めています。

バイオアナリシスの国際統合化

ライフサイエンス分野の分析方法や分析機器の標準化やそのための標準物質の整備について、国際度量衡委員会 (CIPM) の物質重量問題委員会 (CCQM) では、バイオアナリシスワーキンググループを設置して計量学的な見地からの議論や国際比較などを行っています。NMIJはワーキンググループメンバーとして、これらの活動に参加しています。

企画 001-2 e-Library

001号でお知らせしましたように、今年は、テストケースとして、5種類のCD出版物を12月の総会の時にお渡しできると考えております。以下にe-Libraryの現在のリストをお示しいたします。

E-Library

書籍等PDFリスト

1. 2006 仏アッセイ市場
2. **Biology Today**
3. **Biotechnological Processing on Carbon**
4. BTJ プロフェッショナルセミナー DNA マイクロアレイで信頼性のあるデータをどう取るのか？
5. **Process Chromatography**
6. **TLRC-MS の開発と応用**
7. バイテクノロジー分野の標準化に係るニーズと今後の取り組みに関する調査
8. プロテインバンク
9. ミハエリス教授と日本
10. 医者告白
11. 医療診断システム構築のための基盤整備に関するフェジビリティスタディ
12. 医療診断システム構築のための基盤整備に関するフェジビリティスタディ H17.3
13. 医療診断システム構築のための基盤整備に関するフェジビリティスタディ H19.3
14. 自由診療市場の展望と戦略
15. 松屋博士論文
16. 新規産業支援型国際標準化開発事業
17. 日本分析機器工業会
18. 平成9年度バイオテクノロジー国際標準化推進事業成果報告
19. 明治維新と英医ウイリス
20. **Medusa and Snail**
22. ヒト生体試料バンク 現状と課題
23. 物質観の歴史
24. エーリック博士の思い出
25. 吉田博士論文
26. 大科学者の歩める道 ローベルト・コッホの生涯
27. 環プロ標プロ米国調査報告書 US EPA4000 シリーズ
28. **The Ideal Mass Analyzer : Fact or Fiction**
29. ドイツ近代科学を支えた官僚
30. 免疫学に恋して

2) 企画 002-2 ハンドブック

まったく進んでいませんが、ヨーロッパのバイオテクノロジー規格の状況では、

AFNOR-EN として 530 規格」が出来ているようです。(ただし、CEN-TC は休業状態のよう
うです。) 日本では、医療機器ハンドブック I,II,III、環境測定、環境マネジメント、人間
工学が既に発刊されています。

奥山 典生

東京都立大学名誉教授

(株) プロテイン テクノス インスティテュート

t&f 045-981-9455

E-mail ① protein-tech-inst@g01.itscom.net

② OkuyamaTsu99@aol.com
